

11月は児童虐待防止推進月間です

体罰等によらない子育てのために～みんなで育児を支える社会に～

近年、子ども虐待の相談件数は増加の一途をたどり、「しつけ」と称する暴力によって尊い命が奪われる事件が相次いでいます。また、事件に至らないまでも、殴る、蹴る、ものを使って叩くなどの暴力は少なくありません。令和2年4月、改正児童虐待防止法により「体罰は許されないものである」ことが法制化されました。これは、親や保護者を罰したり、追い込むことを意図したものではなく、「体罰等によらない子育て」を社会全体で推進していくことを目的としています。

こんなことはありませんか？

- ・言葉で3回注意したが言うことを聞かないので頬を叩いた。
- ・大切な物にいたずらをしたので長時間正座をさせた。
- ・宿題をしなかったので夕ご飯を与えなかった。



つい、仕方なく…でも
これらは全て体罰です。

子どもとの関わり

具体的な工夫のポイント



子どもの気持ちや考えに 耳を傾けましょう

- 相手に自分の気持ちや考えを受け止めてもらえたという体験によって、子どもは、気持ちが落ち着いたり、大切にされていると感じたりします。
- 子どもに問いかけたり、相談をしながら、どうしたらよいかを一緒に考えましょう。

子育て中の方はもちろん、その周囲の方、教育現場をはじめとした子どもの生活の場で、子育て支援に携わる方など、多くの方が理解し、子育てを応援し、支援していくことが大切です。



「言うことを聞かない」にもいろいろあります

- 保護者の気をひきたい、子どもなりに考えがある、言われていることを子どもが理解できていない、体調が悪いなど、さまざまです。
- 「イヤだ」というのは、子どもの気持ちです。こうした感情を持つこと自体はいけなことではありません。重要なことではない場合、今はそれ以上やり合わない・・・というのも一つです。



肯定文でわかりやすく、 時には一緒に、お手本に

- 子どもに伝えるときは、大声で怒鳴るよりも、「ここでは歩いてね」など、肯定文で何をすべきかを具体的に、また、穏やかに、より近づいて、落ち着いた声で伝えると、子どもに伝わりやすくなります。
- 「一緒におもちゃを片付けよう」と共に行ったり、やり方を示したり教えたりするのもいいでしょう。



児童相談所
全国共通
3桁
ダイヤル

いち はや く
1 8 9

連絡は匿名で行うことも可能です。
連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

お住まいの地域の児童相談所につながります。

※一部のIP電話からはつながりません。※通話無料。

子どもを健やかに育むために～愛の鞭ゼロ作戦～

子育てにおいて、しつけと称して、叩いたり怒鳴ったりすることは、子どもの成長の助けにならないばかりか、悪影響を及ぼしてしまう可能性があります。以下のポイントを心がけながら、子どもに向き合しましょう。



詳しくはこちら▶



子育てに
体罰や暴言を使わない

子どもが親に
恐怖を持つとSOSを
伝えられない

爆発寸前のイライラを
クールダウン

親自身が
SOSを出そう

子どもの気持ちと
行動を分けて考え、
育ちを応援

■問い合わせ 下諏訪町相談ホットライン 電話27-3204 (平日午前9時～午後5時)
長野県児童虐待・DV24時間ホットライン 026-219-2413 (24時間受付)